

# 01 地域医療

5年後の  
めざす姿

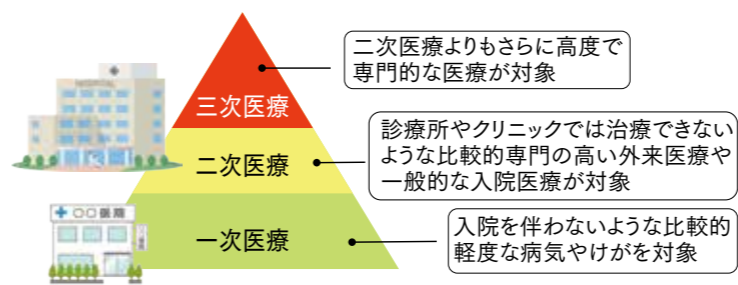
医療体制が充実し、市民が健康  
づくりに取り組んでいます。



桑名市総合医療センターの健診センター

## ■ 医療の効率化と在宅医療体制の充実

限られた医療資源を効率的に活用するため、一次、二次、三次といった医療機関による役割分担と連携が行われています。それぞれの役割に応じた医療が効率よく提供されるよう、患者が病状に応じて適切な医療機関を受診する必要があります。



同時に、高齢化により、慢性的な病気で長期的な治療が必要な人や医療と介護の両方を必要とする人の増加が予想されていることから、病気や介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、在宅医療体制の充実が求められています。



## 課題は？

## 地域住民に必要な医療を確保

団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年には、医療や介護の需要が急増すると予想されています。人口減による医療人材の不足なども懸念される中、限られた医療資源で効率的な医療を提供する必要があります。

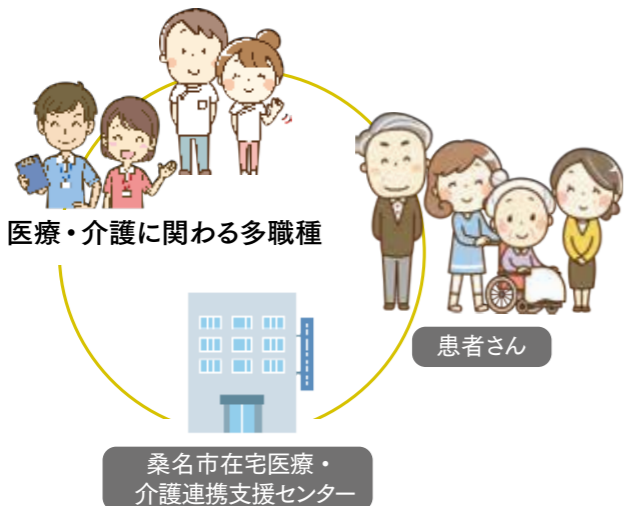


SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成されています。市でも「誰一人取り残さない」まちづくりを進めています。

## 取り組み

### 適切な受診を啓発 医療と介護をつなぐ

桑名市においても、風邪やけがなどの日常的な医療を担う「かかりつけ医」などの一次医療機関から、専門的な治療を行う二次医療機関、より高度な治療を行う三次医療機関への紹介が行われています。また、専門的な治療が終了した場合には、二次医療機関などから一次医療機関へ逆紹介するといった、医療の役割分担と連携が行われています。このように、病状に応じて、必要な医療が必要な時に適切に受けられるよう、医療機関の役割についての理解と適切な医療機関の受診について、普及啓発を進めていきます。



## 整える

### 救急医療の体制整備・充実



継続的で安定した救急医療を提供するため、関係機関との協力と連携のもと、応急診療所の運営を行っています。

● 高度・急性期医療における地域の中核病院であり、災害発生時には医療救護の中心となる災害拠点病院にも認定されている総合医療センターを支援しています。

## 防ぐ

### 感染症の予防・まん延防止



● 予防接種法で定められた定期予防接種を推進し、市全体の免疫水準を維持します。

● 感染症に関する情報提供および正しい知識の普及に努めます。

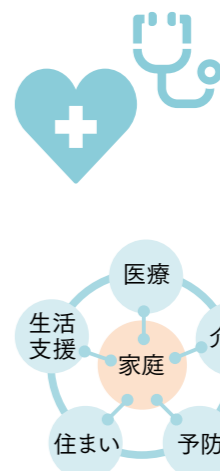
● 新型コロナウイルス感染症への対応では、医師会や保健所、総合医療センターなどと連携し、PCR検査の実施や感染患者受け入れの支援などの対策を行っています。

地域医療

安心して医療を受けられる  
環境づくりをめざします。

- 地域医療体制の整備・充実
- 救急医療体制の整備・充実

5年後のめざす姿

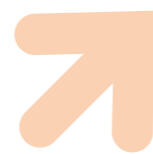


- 住み慣れた地域で自分らしく暮らし、安心して生活を送ることができる
- 医療・介護・予防・住まい・生活支援の連携体制が作られている

指標

地域の医療環境の充実

人口10万人あたり医師数  
5年後増加へ  
令和3年3月末現在  
**198人**



市民が取り組みます！



- 病気やケガの状況に応じて、適切な医療機関を受診しましょう。
- 日常的な診療や健康管理などを行ってくれるかかりつけ医を持ちましょう。
- もしもの時に備えて、アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)について話し合ってみましょう。

市が取り組みます！



- 適切な医療情報を発信します。
- 地域の関係機関と連携し、医療・介護が必要となったときでも、住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境の整備を進めます。

アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)とは、もしもの時に備えて、受けたい医療やケアについての希望や思いを家族や大切な人と話し合っておくことです。

市民編集員の  
これも聞きたい



朝倉さん (60代男性)

なぜ、かかりつけ医が必要ですか？

かかりつけ医がいると、同じ医師に継続して診療を受けることになるので、日頃の生活習慣、これまでかかった病気や出やすい症状などを把握してもらえます。体調の変化で気になることを気軽に相談できるので、病気の早期発見や予防につながります。

また、専門的な検査や治療が必要となった場合にも、症状に合った専門の医療機関を紹介してもらうことができます。紹介状を持っていけば、スムーズに受診することもでき、より適切かつ早い治療につなげることができます。

(保健医療課)



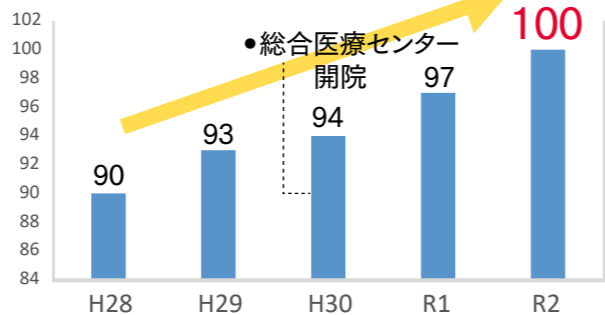
①②在宅医療・介護連携推進事業において、「かかりつけ医を持ちましょう～令和時代の地域医療」をテーマに行った講演と寸劇(令和元年度)。

現在

桑名市総合医療センターの新病院が完成

平成30年4月に新病院の竣工、8月には西棟など全ての工事が完了しました。急性期医療、高度医療を担う地域医療の核となる新病院が誕生し、市内の医療の役割分担と連携が進んだことで、市内の診療所が増加し、医療体制が充実しました。

< 市内の診療所数 >



過去

患者が市外へ流出

専門外来や高度医療などを行う体制が十分に整っていなかったことから、特になん患者や専門的な治療を必要とする患者が市外の病院へ入院や通院するということが多く見られました。



この記事に関するお問い合わせは、秘書広報課へ (☎ 24-1492 FAX 24-1119)



開院当初に内覧させていただきましたが、広い空間のナースステーションや最新医療機器などに驚きました。

開院当初に内覧させていただきましたが、広い空間のナースステーションや最新医療機器などに驚きました。開院当初に内覧させていただきましたが、広い空間のナースステーションや最新医療機器などに驚きました。

開院当初に内覧させていただきましたが、広い空間のナースステーションや最新医療機器などに驚きました。開院当初に内覧させていただきましたが、広い空間のナースステーションや最新医療機器などに驚きました。

市長とみんなのネクストビジョン Next vision

No.9 地域医療



特集「桑名市総合計画をひととく」の第9弾は「地域医療」です。ここ数年で桑名市の地域医療は大きく変わりました。その大きな要因は、やはり桑名市総合医療センターの存在です。

平成30年に開院した総合医療センターは現在、急性期医療、小児・周産期医療、高度医療への対応が充実し、桑名地域の中核病院としての役割を担うまでになりました。医師などの医療従事者も確保できるようになり、かつて「桑名は医療過疎地域」と言われていた時期と比べると、大きく改善したと感じています。

現在直面している新型コロナウイルス対策においても、桑名の地域医療の強みを実感しています。もちろん総合医療センターは、PCR検査の実施や感染患者の受け入れなど当初からしっかり対応しています。そして総合医療センターと同様に、医師会や保健所もそれぞれの役割を果たそうと献身的にご尽力いただいています。65歳以上のワクチン接種をかりつけ医で実施したいいわゆる「桑名市モデル」はその良い事例です。

これから、市民の皆さんが安心して暮らせる医療体制を、総合医療センターや医師会、各医療機関、関係機関としっかりとタッグを組んで整備してまいりたいと考えております。